

2024年4月14日 復活節第三主日礼拝説教
「救い主が結ぶ出会い」(ルカ24章36b~48節)

○新たな御体を纏った救い主

神の子イエスは、よみがえりの知らせを聞いた弟子たちがその喜びを分かち合うため、彼らの集まる所に来て、「あなたがたに平和があるように」(36節)と言われた。

☞よみがえられたキリストを見た弟子たちは、亡き者の霊、死者の魂が降って来たと思い、心は恐れに満たされた。

今日のみことば：ルカ24章38、39節

「なぜ、うろたえているのか。どうして心に疑い^{こころ}を起こす^{うたが}のか。わたしの手^てや足^{あし}を見なさい。まさしくわたしだ。」

※手と足、肉と骨、心も体もある生ける神の子イエスが、きょうも〈みことば〉を語り、あなたの心に触れられる。

「触ってよく見なさい。亡霊には肉も骨もないが、あなたがたに見えるとおりに、わたしにはそれがある。」(39節)

○あなたの心と目が開かれるとき

「イエスはそれを取って、彼らの前で食べられた。」(43節)

救い主イエスは、弟子たちが心から信じるために、一切れの「焼いた魚」(42節)を食べ、ご自身の〈鮮やかな御姿〉を彼らの目に映し出され、〈よみがえり〉の確かさを示された。

☆「まさしくわたしだ」と語り、あなたのためにも魚を食べられたイエスを、いま、わたしたちの心に受け入れよう。

「そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて」(45節)
きょうも、キリストは、あなたの心の目を開き、みことばのうちにある〈ご自身の御姿〉を現わし、この方による赦しをわたしたちが受け、喜び、伝える力と助けを与えられる。

※救い主との出会いをとおして、よりよい明日が導かれる。